

# やさいレポート (令和5年11月号)



# キャベツ



発行日：令和5年11月7日

## 1. 卸売価格の動向

○137円/kg (11月4日)

➢ 平年比：163%

○11月の価格見通し

前半：高値水準で推移

後半：平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○200円/kg (10月全国平均)

➢ 前月比：135%、平年比：123%

➢ 東京：253円 (1玉)

➢ 大阪：231円 (1玉)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：4/20 (前月6/20)

➢ 大阪：3/10 (前月5/10)

(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○514g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：102%

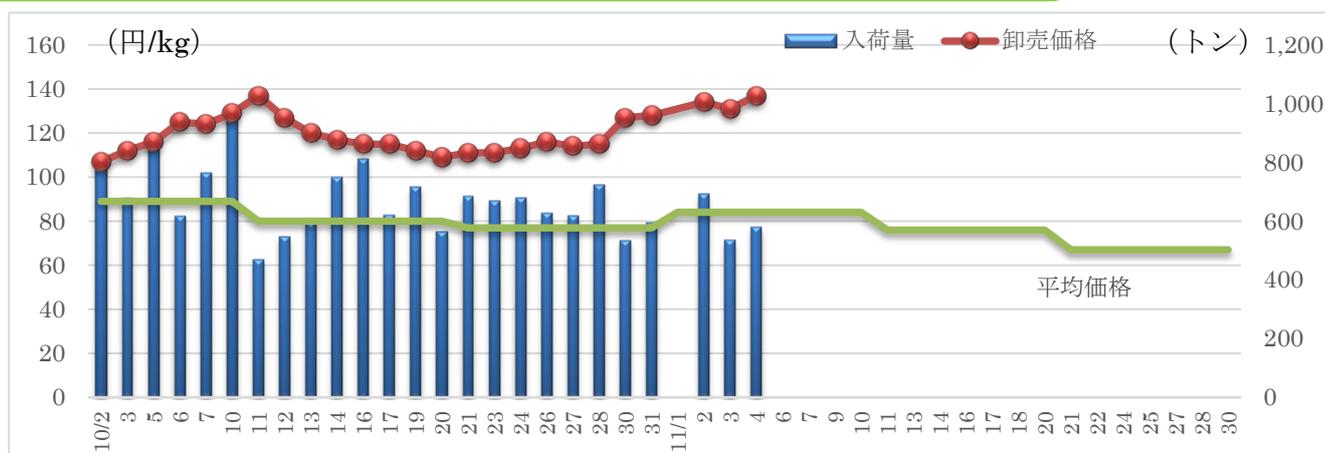
➢ 前年同月比：93%

○5,856g/人 (2022年年間)

➢ 前年比：92%

(総務省統計局家計調査)

## 4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



## 5. キャベツの小売価格の推移

(円/kg)



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
東京都練馬区 (10/30)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
長野県南佐久 (10/11)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県田原市 (10/12)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
大阪府泉南 (10/20)	前年並み	平年並み	遅い	遅い見込み
和歌山県和歌山 (10/27)	平年並み	—	平年並み	—
福岡県JA北九 (10/18)	前年並み	平年並み	平年並み	—

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



福岡県 JA 北九若松地区：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (11/04~12/01)

週別の天候				
11/04~11/10	北日本日本海側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
11/11~11/17	北日本日本海側では、低気圧や寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
11/18~12/01	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少10 並30 多60% 多い見込み	少60 並30 多10% 少ない見込み
	太平洋側		少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1か月予報)

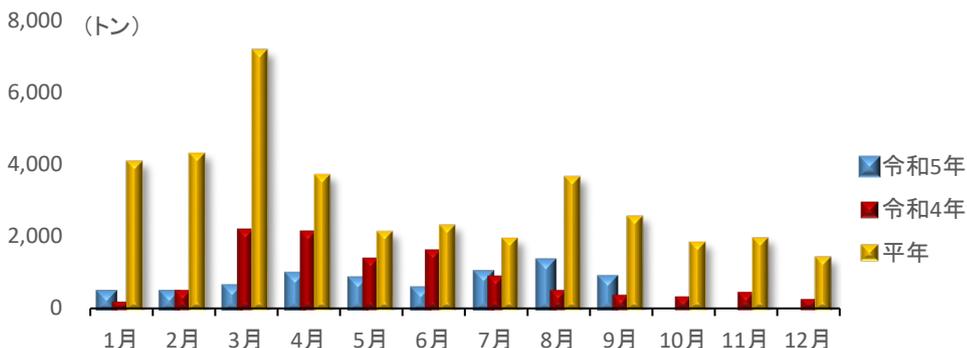
## 8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

○817トン (9月輸入量)

➤ 前年同月比：232%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入  
(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

10月は、群馬産の準高冷地が生育前進で収穫終盤に入り入荷量が減少する中、後続の茨城産、千葉産が定植期の高温干ばつ傾向で、高温期を敬遠したことによる定植遅れ、高温期に定植したものは、活着不良や生育が遅れなどにより、生育進度が平年より遅れたために市場入荷量が伸びず、価格は平年を上回りました。

11月は、比較的安定した入荷となっている神奈川産のほか、生育進度が遅れていた茨城産、千葉産、愛知産などが安定して入荷することから、価格は前半が平年を上回るものの、後半は平年並みに落ち着く見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793